

令和7年度第2回釜石市文化財保護審議会の開催結果について

令和7年度第2回釜石市文化財保護審議会を開催したので、次のとおり報告する。

- 1 開催日時 令和7年10月16日(木)10時30分～12時00分
- 2 開催場所 イオンタウン釜石2階 旧しごと・くらしサポートセンター会議室
- 3 委員出席状況
委員10名中9名が出席した。
 - 1) 出席委員 藤原信孝会長、瀬戸元副会長、河東直江委員、鱈沢トモ子委員、千葉愛子委員、藤井サエ子委員、藤井静子委員、佐々木光壽委員、市川淳子委員
 - 2) 欠席委員 千葉まき子委員
- 4 事務局出席者
川崎浩二部長、手塚新太課長補佐兼文化財係長、齋藤香織主査、加藤幹樹主査
- 5 傍聴者 岩手日報
- 6 経過
藤原会長によって議事進行が行われた。

1) 議事1「釜石市指定文化財推進物件について」

<協議内容・経過>

事務局から「釜石市指定文化財推進物件について」を資料に基づき説明し、意見を求めた。

- ・事務局 今年度指定予定の「松倉太神楽」及び「松倉虎舞」の調査報告書について、ご確認いただきご意見を頂きたい(全文を読み上げる)。
- ・瀬戸副会長 松倉太神楽は七軒丁からの流れと聞いている。調書には慶長年間とあるが、はっきりと年代を掲載するには資料に乏しい。虎舞を含め郷土芸能の隆盛は文化・文政の頃ではないか。年代をはっきり明示しない方が良いのではないか。
- ・事務局 松倉太神楽の資料をもとに記述したが、ご指摘のとおり資料が乏しく年代の特定は難しいため、次回までに検討し提示したい。
- ・藤原会長 現在伝承されていることを重要視して指定を検討するのが良いと思う。今回は、今年度の指定を検討している松倉太神楽と松倉虎舞について意見を頂いたが、次回は新たな候補物件に関するご意見を頂きたい。

<結果> 年代等を含め調書を見直し再度提示することとした。また、次回の会議で新たな候補物件についてのご意見を頂くこととした。

2) 議事2「釜石市指定文化財「明神かつら」の倒伏について」

<協議内容・経過>

事務局から、「釜石市指定文化財「明神かつら」の倒伏について」を資料に基づい

て説明し、意見を求めた。

- ・事務局 倒伏の報告があった後、会長・副会長・第三専門部会で現地調査を行った。倒伏した部分は一部であり、指定文化財の価値を損なうものではないことを確認した。
- ・藤原会長 明神かつらは私の知る限り今回を含めて三回の倒伏があった。これからも倒伏が予想されることから、できれば現状のままとしたい。なお、桂明神の社殿や壊れた鞘堂については、地元の管理となっているため来年一月の会議で検討することになる。
- ・佐々木委員 樹木の治療も考えられるが治療費が莫大にかかるので難しい。ただし、腐ったところは取り除いた方が良い。

<結果> 質疑応答のうえ、指定文化財の価値を損なうものではないことを確認し了承を得た。今後の対応については、地元や所有者等の意向に沿って進めることとした。

3) 議事3「第27回郷土芸能祭の開催内容について」

<協議内容・経過>

事務局から、「第27回郷土芸能祭の開催内容について」を資料に基づいて説明し、意見を求めた。

- ・事務局 郷土芸能団体に出演意向を確認した結果、11団体から出演の意向が示されており、地域性や出演回数から第二専門部会で8団体に絞りたい。また、市外からの招聘団体は世界遺産登録10周年ということもあるので、平泉町か一戸町から1団体招聘したいと考えている。
そのほか、小中学校で活動している子ども達にも参加を要請したい。
- ・千葉委員 せっくなので、出演を希望されている団体の全てにお願いすることはできないか。
- ・事務局 8団体分の費用しかなく、全団体に出演をお願いできない状況にある。
- ・藤原会長 今後は、第2専門部会を中心に出演団体等を検討していく。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

4) 議事4「その他」

<協議内容・経過>

事務局から、「その他」について資料に基づいて説明し、意見を求めた。

①文化財パトロールについて(案)

令和7年11月6日(木)に常龍山之碑等の文化財パトロールを実施することで了承を得た。

②「高校生とめぐる釜石の戦跡」開催結果

令和7年7月21日(月・祝)に高校生の案内で市内の戦跡めぐりを実施し、参加者が20名であったことを報告した。

③「戦後80年釜石と戦災～未来に伝えるために～」開催結果

令和7年8月3日(日)に実施した戦後80年の催事の講演会に元オランダ人捕虜の孫にあたるエローイ・リンダイヤさんとリンダイヤさん家族の本を執筆した

メリンダ・バーンハートさんが来日し急遽参加したことで、映画上映会来場者 130 人、講演会来場者 150 人、パネルディスカッション来場者 150 人、パネル展示来場者 150 人であったことを報告した。

④『郷土芸能体験教室』開催結果

令和 7 年 8 月 11 日（月・祝）に実施した松倉太神楽と松倉虎舞による郷土芸能体験教室について、来場者 130 人、体験者 70 人であったことを報告した。

⑤岩手県指定文化財記念講演会「三浦命助と三閉伊一揆」開催結果

令和 7 年 9 月 14 日（日）に兼平賢治氏（東北学院大学文学部教授）をお迎えした講演会について参加者 100 人であったことを報告した。

⑥佐野家文書調査結果

令和 7 年 9 月 15 日（月・祝）に実施した兼平賢治氏（東北学院大学文学部教授）による佐野家文書の調査の結果、沿岸部の特徴を示す貴重な資料であるとの評価を受け、今後調査を検討することを報告した。

⑦有形文化財（建造物）の文化庁調査官視察

令和 7 年 9 月 17 日（水）に北河大次郎主任文化財調査官（文化庁 文化資源活用課）による、和田家住宅、千手布引観音堂、釜石鉾山鉄道一ノ橋橋台跡、久保家住宅の視察があり、各建造物に関する助言と釜石鉾山鉄道一ノ橋橋台跡は史跡部門との指摘があったことを報告した。

⑧記念物（名勝地）の文化庁調査官視察

令和 7 年 10 月 7・8 日（水・木）に平澤毅主任文化財調査官（文化庁 文化財第二課）による御箱崎の千畳敷、鷲ノ滝、古里の石積畦畔、瀧澤神社と沢松川（市）、ヨドマワリの滝、ママシタの滝、根浜海岸、釜石湾の風景、不動の滝、甲子川の釜石、仙人峠大橋、（追加確認：片羽山、松磯、洞泉の石灰山、釜石鉾山の風景）の視察があり、各名勝地に関する助言があったことを報告した。

⑨郷土芸能映像記録保存会（予定）

令和 7 年 10 月 26 日（日）に尾崎町虎舞（尾崎青年会）、南部藩壽松院年行司支配太神楽の映像記録保存会を実施することを報告した。

7 まとめ

・川崎教育部長

指定文化財の推進物件については、頂いたご意見を反映し調書を修正するので再度ご審議いただきたい。また、明神かつらについては、植物の変化を受け止めながらも、その指定文化財としての価値を守り、保存する意思決定を頂いた。その他、戦後 80 年の取り組みにおいては、オランダ人捕虜の視点、捕虜収容所長の日本人の視点、それを客観的に見たアメリカ人の視点、それぞれの視点を学ぶことができた。当日ご講演いただいた佐野睦子さんの戦争体験の生のお声は大変貴重だということで、その映像を子どもたちや教員の教材にできないか検討している。教育委員会としての取り組みも随時行っているため、引き続き皆様の協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上